

喜寿のみなさん

1937年(昭和12年)生まれ

高北 木館 寿	藤崎 龍	荒木 龍	竹之内 穂	小野寺 寛	高佐 雄	大場 清	佐藤 勝	山崎 高	海上 気	田上 子	森上 勤	日下 恒	真田 美	浅利 恒	田上 三	後藤 博	宮崎 正	田辺 弘	清水 朗	〔北 区〕	久下 友	佐藤 文	植村 彦	葛西 勝	〔南 区〕	佐橋 睦	池田 博	大田 守	菊池 均	柏順 子	〔西 区〕	丸山 昇	前田 智	池田 誠	鶴沼 美	近澤 為	石黒 月	大村 誠	〔東 区〕	津田 永			
高飯 屋田	中井 謙	阿部 孝	福田 聖	西田 弘	薬師 伍	井坂 ま	松原 陸	清水 正	田中 良	松田 英	岡崎 博	小野 皓	高橋 勉	安藤 一	荒木 仁	皆本 子	小沢 明	西垣 恵	〔小 樽〕	中田 克	濱田 ツ	白石 八	高橋 義	〔厚 別区〕	高橋 淳	飯沼 昌	大谷 き	佐藤 之	〔白 石区〕	板垣 芳	祐川 綾	田中 隆	〔清 田区〕	高木 春	石川 武	佐藤 弘	島村 二	中村 哲	村瀬 克	津田 康			
福井 庄	渡辺 孝	宮上 喜	川上 宗	福土 春	金子 英	米内 光	蛭川 治	佐藤 幸	庄司 玲	山下 マリ	坂口 清	松藤 美	玉置 慎	吉川 紀	〔旭 川〕	曾根 義	松長 仁	瀧澤 三	益子 三	加藤 繁	大岩 正	逢坂 幸	〔後 志〕	川崎 多	相坂 繁	小川 晃	山口 嘉	計良 典	美馬 幸	高橋 知	松井 一	宮野 治	国沢 仁	十河 皓	藤木 啓	鳴海 武	谷口 正	仲村 洋	西村 俊	千田 六	〔石 狩〕	澤田 遥	
山澤 康	浅地 正	木下 敏	〔函 館〕	久我 宏	〔宗 谷〕	前田 秀	中山 忠	山田 久	増田 勝	豊川 一	細川 武	酒井 智	〔留 萌〕	久保 豊	橋本 宏	久保 夫	岩井 光	齋藤 勝	戸田 静	室橋 万	高橋 利	石塚 武	青木 雄	小川 泰	吉田 昭	石田 久	徳田 孝	玉田 勉	佐藤 昌	小武 一	桜田 昇	阿部 秋	〔上 川〕	柏木 忠	朝野 恵	杉原 茂	入谷 夫	栗野 明	原野 暁	澤田 遥			
川俣 勇	小林 周	小熊 庸	酒井 富	遠藤 茂	佐々 樹	藤田 章	福田 之	真田 子	佐藤 一	保田 弘	林原 健	中野 功	近野 夫	高田 三	高田 久	石井 彦	紀谷 信	沢谷 和	三河 宏	滝本 三	北濱 豊	長谷 正	古野 柳	信田 誠	深田 夫	谷栖 通	今田 槌	池田 宏	田中 邦	笠原 一	木村 貴	鎌倉 子	長谷 孝	山田 三	後藤 務	日上 春	中林 夫	福島 次	富田 正	真田 祐	野田 恵	寺島 七	山本 益
山城 宏	船木 祐	谷口 弘	〔中 空知〕	泉八 郎	〔南 空知〕	佐藤 俊	更谷 正	松倉 紀	土屋 義	〔夕 張〕	梶尾 俊	村中 勝	西澤 子	伊賀 清	水澤 光	田川 巳	成田 紀	木村 実	石栗 幸	佐藤 一	白戸 久	高谷 節	〔室 蘭〕	渡辺 夫	〔桧 山〕	熊本 昇	松崎 夫	北野 治	上田 光	若竹 幸	〔渡 島〕	田中 克	浜井 光	本川 雄	黒島 子	山本 昭	野本 武	節郎 武	山本 節				
今井 雄	窪田 忠	川森 義	甲谷 彦	西岡 孝	森岡 勝	萬代 勝	菊池 幸	石川 東	〔日 高〕	森本 一	鷲頭 雄	後藤 子	大内 浩	嘉悦 夫	村上 美	〔胆 振〕	黒宮 治	水間 治	佐藤 厚	藤森 史	北本 恵	齐藤 一	新谷 和	安田 誠	岩井 明	松本 三	伊藤 善	川崎 弘	笹井 善	竹島 良	時田 一	〔空 知中 央〕	鹿野 裕	清水 弘	〔北 空知〕	桃山 光	尾崎 能	森田 吉	島谷 毅	野谷 子	山本 愛		
藤田 浩	〔網 走〕	山岸 康	三村 友	前田 光	芳賀 栄	鈴鹿 光	橋原 一	武田 美	西川 巖	〔十 勝〕	小石 美	神馬 敏	清田 也	佐藤 樹	足立 弘	広田 章	吉田 修	佐藤 子	島田 也	富田 明	〔帯 広〕	安田 也	林川 夫	坪井 敏	高岡 行	白川 實	渋谷 一	山本 豊	高橋 浩	多田 信	〔釧 路市〕	土屋 和	反保 明	石戸 也	大城 利	高橋 洋	五十 敏	吾田 明	柴田 稔	田邦 男			
尾崎 和	〔道 外〕	山本 祐	森内 重	〔釧 路〕	小川 功	千野 一	〔根 室〕	平田 男	庭正 人	荒田 之	木根 治	海野 生	長屋 隆	白土 英	鍵主 忠	木下 俊	平船 正	前田 示	橋本 美	山本 美	田中 一郎	岡野 義	伊勢 信	米田 敏	石井 清	藤澤 晃	伊藤 一	吉峰 次	鈴木 夫	渡部 豊	山部 弘	小村 子	長船 行	磯角 幸	杉原 幸	武原 幸	高田 和	古橋 良	保科 正				

「戦争をさせない」とりくみと統一地方選勝利にむけて

5ブロック活動交流集会 開く 9/25

九月二十五日、今年のトップを切り五ブロックの活動交流集会が中津津で開かれました。地元の町議を含め五退教三〇名が参加。集団的自衛権の容認反対と統一地方選勝利にむけての強化を確認しました。



戦争をさせないために 〈話し合いの内容〉

■「安倍政権の暴走をくいとめ、統一地方選に勝利するため有権者にどう話していくか」にしばしば、熱心な議論が続きました。

■安倍首相のいう北朝鮮への輸送船臨検等は個別の自衛権の問題で集団的自衛権容認とは関係ない。米艦防護、米国へのミサイル迎撃等は設定自

イスラム諸国に狙われる日本に

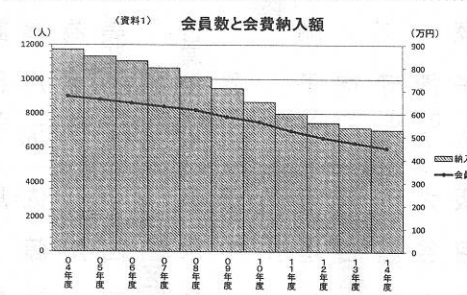
■今、日本はイスラム諸国と敵対していないが、これからは日本人が狙われ、海外で殺害される。集団的自衛権を容認させるためありもしない例をあげてだますナチスのやり方だ。

■シリア空爆も今政府は「理解」だが、「支援」「武力行使」へとエスカレートする危険大。

■我々の立場はあく迄戦争反対。個別的自衛権だからいいとはならない。戦争はいつも「自衛」の名で始まる。

■憲法平和主義こそ! 集団的自衛権容認は違憲。閣議決定は論外。だが民主党は賛否がわかれてる。しっかりとらる。PPP、集団的自衛権。秘密保護法反対のしつかりした人に投票しよう。有権者はわかってくれる。■友人が攻撃されたらというが友人は米国民だけですか。ベトナム・イラク戦争等々侵略戦争をやってきた米国と一緒に地球の裏側まで行き人を殺し殺される。だから今、こうならぬように戦争のため「積極的平和主義」でなく堂々と憲法平和主義、被爆体験をかかげて平和外交をすべき大事な時だ。こうした議論が集中して行われました。また来春の地方選勝利にむけて各退教毎の選挙情勢が話されとりくみ強化を確認しました。

12月～5月 加入強化重点期間



一人でも多い加入を!! 友人・知人・再任用者へ現職とともに!!

毎年百名以上の加入 全体数は減少

全国一の会員数の北退教は各退教の熱心なとりくみにより毎年百名をこす新会員の加入がありま

す。しかし、死亡や退会もあわせて三百名以上あり全体の会員数は減少しています。現職と一緒に「戦争体験」の学習会を行う等現職に「よくみえり北退教活動」を強め加

11月21日全道事務局局長会議でさらに論議!! 組織拡大と組織・財政の見直しについて

今年6月から9月迄の新加入者は7名となっており、早急なとりくみの強化が重要で

す。北退教は加入をすすめるため全道事務局局長会議で加入パンフ等の作成、北教組や教済とのつながり強化、再任用者対策等

これを具体的にとりくみをさらに強化します。

各退教ではこれ迄も「現職と一緒に退職予定者へ学校訪問・電話で働きかけた」

「再任用者へ引き続き電話」「既退職者へも働きかけた」「加入のよびかけ文書を二度作って渡した」等、熱心なとりくみが続けられています。いつそうのとりくみをお願いします。

今後の各ブロック 交流集会の日程・内容

- 1ブロック 十月七日(火) 余市町。ニッカ工場見学。交流、討議、懇親。
- 2ブロック 十月二十一日(火) 羽幌町。交流(情勢、高齢福祉、組織拡大等)懇親。
- 3ブロック 十月二十九日(水) 函館市。大間原発学習、統一地方選(全道・道南の情勢)、交流。
- 4ブロック 十月十日(金) 北海道教育会館。交流、課題論議、懇親。

カンパのお願い 「大震災・沖縄・戦争をさせない日退教カンパ」

どっかよるしくお願ひします。12月18日迄・各退教で集約中です。

新会員のひとこと

新たな気持ちで (留萌) 三橋 邦 男さん

■上川管内で教員生活をスタート後の年まで担任をもつことができて、その後留萌管内に移って合

わせて五つの中学校に勤務し、今年三月に定年を迎えました。この間、引き続き担任をもつ機会をに、それぞれの任地で職場の仲間を支えられて、健康で充実した日々を送ることができました。最後、どうぞよろしくお願ひします。



悪しき流れを断ち切ろう!! (函館) 横山 節郎 さん

■基礎年金が私の年から六十一歳支給となりました。以前からハーフタイムで再任用もありかなあと

思っていたので、幸い四月から中学校に勤務しています。来年四月の統一自治体選挙では、北教組・北退教の消費税のアップ・それに伴う諸物価の値上げ等。これでは老後の心配は尽きません。さて、教育の問題

「政治的中立」は憲法違反

(石狩) 川村 恒夫 さん

■日本にきたスイスの女性が「日本は政治教育をしていない」と驚いていました。憲法を基に生まれた「教育基本法」の第八条(政治教育)に「良識ある公民たるに必要な政治的教養は、教育上これを尊重しなければならぬ」と定めてあります。人は自分の生命・財産・思想・信条・自由の権利を守るために今の政治の姿を確かめ、

ここから先へ

(小樽) 山本 あき子 さん

■教員になったら組合に入るのが当たり前という時代でした。大学は出て何もわかっていない中、自分達労働者の権利、知識を得ること、それを基に行動すること、共に歩む仲間を持つことの大切さを学びました。

多くの先輩方が手を差し伸べて教えて下さいました。しかし、多忙化する一方の職場で、私は若い後輩達にその教えを伝えていくことの難しさを感じました。職場を離れ、改めてその重要さを痛感しています。

戦争させてたまるか!北退教立ちあがる!!

教え子を殺すな、殺させろな!

集団的自衛権行使容認に断固抗議!

北退教は、集団的自衛権行使容認の閣議決定に強く反対、札幌はじめ各地域の抗議集会等に参加、闘いの先頭に立ちました。



7・1 閣議決定に抗議!
大通公園「戦争させない緊急集会」
北退教・札幌はじめ石狩、小樽、南空知の近隣 退教から三十名が駆けつけました。

主催者の発言より
「閣議決定を今すぐ撤回せよ!」「殺さなければ殺される戦場に若者を送るな!」「勝手に九条をつぶすな!」
「一つの内閣の意思表示に過ぎない閣議決定が戦争に国民を駆り出す根拠になるはずがない。ファシズムは優しい仮面をかぶって忍び寄る。閣議決定は法的にも何の根拠もありません。我々には正義は我々にあるさ!」

9・15全国高齢者集会開く
退職者連合は、九月十五日、日比谷公会堂で全国高齢者集会を開催。二千名参加。集団的自衛権容認や原発再稼働、社会保障引下げ等への反対決議をあげ、デモで都民に強くアピールしました。

再稼働やめる!

10/4 三、五〇〇人さようなら原発道集会
加藤登紀子さん、脱原発訴える



激しい雨の中
退教会員結集!
十月四日(土)札幌で三千五百人が参加、「さようなら原発北海道集会」が開かれました。北退教は北教組とともに札幌、石狩、後志、小樽、南空知、室蘭等の退教から多くの会員が参加。「再稼働やめる!」「原発反対!」と強く訴えました。

北退教の旗高く6・28
「戦争させない北海道大集会」に参加
五千五百人・北退教90名参加
全道から五千五百人が参加、憲法破壊の暴挙を市民に訴えました。北退教は北退教の大量七十名をはじめ近隣退教含め九十名が北教組各支部と一体となり怒りの集会・デモを盛りあげました。

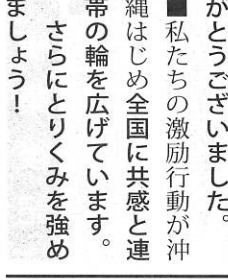
よびかけ人の挨拶
「福島島の放射能は八〇%は太平洋へ流れた。油で事故起これば全部が陸地へ流れ大惨事だ。『世界一安全な審査基準だ』の一方で規則委員長は『安全を保障するものではない』という。どだい避難計画が審査対象にならないで、何が安全か!」「使用済燃料は十万年冷やし続けねばならない。火山・地震列島の日本、御嶽山爆発をみよ。再稼働を止め、すべての原発をなくす以外に人類の生存はない!」

一万六千人が再稼働反対!
9/23さようなら原発全国大集会(東京亀戸公園)
北退教五名参加、北教組五十名とともに
「経済より命だ!」「福島を忘れるな!」と会場を埋め尽くした参加者。よびかけ人の大江健三郎さん、沢地久枝さん等は「これだけ多数が声をよびかけました。」

集会に参加して
(石狩)栗本 秋生
被災地を見捨てて再稼働に突っ走り原発輸出に奔走する政府・電力資本を絶対に許せません。旗の林立した九・二三集会は原発依存者どもを震撼させたに違いない。全ての働く者の連帯した力で自民党政権打倒目ざしてがんばりましょう!

ついに北海道にオスプレイ飛来
7・19陸自「第28回札幌航空ヘーシエント」
すでに米国他で七回の墜落事故で三十六名の死者を出し欠陥機とされるオスプレイ。全国に訓練地を拡大、北海道での訓練常態化をねらう布石と

沖縄の退教代表、北退教からの激励ハガキを紹介!!
「辺野古現地集会と日退教沖縄交流会で感謝の報告」
各退教の皆さん、辺野古阻止闘争に奮闘中の沖縄県・高退教への連帯・激励のとりくみ大変ありがとうございました。私たちの激励行動が沖縄をはじめ全国に共感と連帯の輪を広げています。さらにとりくみを強めましょう!





退職教職員の戦争体験を どうつづけてめたか

「戦争を語る会」 現職参加者の感想

■忙しい現場だが…
日々、忙しい現場、考えることや声を上げることを奪われている状況です。資料の中にもあった「戦死せる教え児よ」の最後の『繰り返さぬぞ絶対に!』を忘れてはいけなと兼古さんの話を聞いて思ったのと、大衆運動をつくりあげることの大切さを実感しています。

■大事な体験談
子どもたちに、戦争の怖さを話す時、体験した人の話を聞くことによつて、具体的な話を教えることが出来ると思いまし

■仲間との語らいを
今、教育の中で子どもたちに、伝えなければならぬ貴重なお話でした。多忙を極めている教育現場ですが、仲間と語り合えなければならぬと、切実に思いました。忙しいの中で、大事なことを後回しにしている…不安を感じます。

■大人の何をしている?
今年六年生を担任しており、学芸会の劇で「平和

和」をテーマに子どもたちには戦争に行かせたくない」といふ大人が許せない。一人でも多くの教え子たちに、戦争の悲惨さを伝えたい。

■志願させねば教師失格
「クラスの三分の一の生徒を、少年兵として志願させなければ非国民」と言われたら、教員として、がんばってしまおうかもしれない…とお話を聞

■こわいからですか?
ちょうど今日「平和教育」をしました。小四で八月六日、九日、十五日に何が起きたか知らない子がほとんど。その後読

編集後記

■人のふとりに手をいれ年金積立金を株に変え、株価をあげ、安倍人気をささえようとする。しかもその立役者は厚生労働大臣だ。黙っていたら半生かけて積立てた年金がふっとぶ。そのリスクは誰も背負わない!これが許されるのか!
■「梅雨空に九条を守れ」の女性デモ」公民館月報の俳句コーナーで選ばれたこの句を公民館が掲載拒否。(さいたま市)九条を守ることが憲法を守る公務員の義務なのに逆を守らない。風向きを察しての迎合が進んでいます。きつぱりと退職教職員の出番の時代がきました。若者も現職も話せばわかります。上欄の空知の仲間のとりくみはそのことを雄弁に物語っていると思えます。
(北島義久)

おたより

いつもうれしお便りをありがとうございます

七月一日は

忘れられない日
(網走) 小林 正
二〇一四年七月一日はもと教師にとつて、忘れることのできない日となりました。

「勤評は戦争への一里塚」などともいわれましたが、戦争なんてあり得ないと考えておりまし

た。社会科の教師に丸なげしていた平和教育。賃金闘争と平行して、熱心に平和と生命の大切さを子供達に考えさせるべき

だったと悔やんでおります。
戦時中、教師に上からの指示で、予科練や開拓義勇軍に行くことをす

めたようです。(割当て的なものもあつたとい

う)「お前は背が小さいから合格しない」「汁粉を食わせるから願書だけ

出せ」とすすめられた先生がいました。小さいこ

とでも何かしなければと

思い二十六年間紙芝居をやつてきましたが、たりませんでした。
■頑張る気持ちが湧く誕生カード
(上川) 両角 康行
今年も誕生祝いいただきました。
毎年の事ながら、これを拝見する度に、これからは頑張ろうとの気持ち

■人災もあるのでは…
(函館) 中山 猛
誕生カード拝受致しました。御厚情ありがとうございます。今年六月頃より今まで縁のなかつた病院と薬とのつきあいが始まりました。これも年齢と思えば止むなしと思つて過ごそうと考えております。今年には異常気象に自然災害(これには人災)もあるのではないか

■他人の役に立つ
(札幌) 川内 藤孝
八十歳になりました。そして、一生に一度の変化を迎えました(略)。カードのことにば「ひとりです。まっすぐ生きる」とありましたが、私にとつて「生きがいは、他人の役に立つことの実感を身にしみて感じる」ことでした。「いきいき生きる」を受けて、「生きがいは、他人の役に立っていること」です。
■楽しい会合
(北空知) 篠原 節子
八三歳の誕生日を何とか元気で迎える事が出来ました。

■あと五年は
(旭川) 和田 修治
美しい誕生カードありがとうございます。八五歳です。あと五年程生きたいと思つております。
■あきれはるる総理の迷走
(石狩) 高橋 博美
今年も又ご丁寧なぞし

■二十四枚目の誕生カード
(岩見沢の方)
この度、誕生カードの御惠贈をいただき衷心より感謝申し上げます。昭和六一年以来、途中数枚紛失しましたが、今回二十四枚目をいただき唯々感謝の他ありません。

■感謝感激の誕生カード
(胆振) 皆川 一男
毎年毎年ご丁寧な誕生カードをお届け下さり有難うございます。只々、感謝感激致して居ります。
■生きる尊さと
(札幌) 松川ノブ子
この度は誕生カードを頂戴いたしました誠に有

■ひとことば
(石狩) 早坂 謙吾
この度は素敵な誕生カードをご送呈下さいまして有難うございます。ひとことば「繰り返して読ませて頂きました。ありがとうございます」

紙面の都合で文面の一部を略させていただきました。あしからずご了承下さい。